

吹奏楽史年表

時代	年	世界での出来事
古代 ギリシャ・ローマ	紀元前 3500-2500	メソポタミアのシュメール・古代バビロニアで、リラやリュートとともに、長縦笛、杵つき太鼓が演奏されていた。5音音階が存在した。
	3000-1700	エジプトの古代・中期王朝で儀式やサロン音楽、舞楽とともに軍楽が存在した。縦笛が使われ、ペントニックが存在した。
	2697-	黄帝が中国音階の基礎を定め、撥弦楽器とともに笛・打楽器が使われた。
	1900-	ヒットタイトの壁画で、角ハーブとともに二重オーボエ、打楽器が確認できる。
	1600-1100	エジプト新王朝で洗練された情熱的な鋭い音の音楽。笛、芦笛(オーボエ)、ラッパ(トランペット)、シストルム、太鼓が演奏された。
	1000-	ダビデ・ソロモン治下のイスラエル音楽が栄え、太鼓(トーフ Tof)・シンバルによる舞踏。ラッパ、角笛(ショファー schofar)、ハリル(Halil)が存在した。
	850-	イシス Isis(エジプト)などで刺激的な儀式音楽(器楽)が、器楽アウロス・手打ち太鼓・シストルムで行われた。
	450-	ローマ共和国の音楽がギリシャや東洋に影響を及ぼす。民族楽器ティビア(長笛)が演奏され、大きな奉獻にはティビア奏者がラッパを吹いた。
	200-	ギリシャ音楽がイタリアに影響を及ぼす。トゥバ(Tuba)・ブッキーナ(Buccina)・リトウス(Lituus)などでローマ戦争音楽の編成が充実する。
中世・ ロマネスク 様式	紀元1000	キリスト教会音楽による声楽中心の中、世俗音楽に笛(リコーダー)が使われた。
	1000-	ヨーロッパではソプラノからバスまでのファイフ(フルート)やバグパイプとドラムによるバンドが存在した。
	1100-1300	トルコの軍楽で小太鼓・大太鼓・シンバル・トライアングルが用いられ、後にヨーロッパに大きな影響を与える。
	1300-1603	イギリス王朝でエドワード3世・ヘンリー7世などが、トランペット、クラリオン、サクバット、バグパイプ、ドラムなどによるバンドを持った。 ヨーロッパの城や要塞都市では、有事の際にホルンを吹いて危険を知らせた。後にはジンケやサクバットによって塔の上からコラールや祝祭音楽を演奏するタウンバンドへと発展した。
ルネサンス 様式	1426	アウグスブルグ市でジーギスムンド皇帝によって都市バンド(トランペット・ケトルドラム)が編成された。
	1557-1612	ヴェネチア楽派のジョバンニ・ガブリエリ(G.Gabrieli, 1557-1612)がトロンボーンとコルネットによるバンドの作品を数多く残し、各地(ヴェニスの大聖堂など)で宗教音楽にも用いられた。
	1600-1695	トルコの影響を強く受け、ショーム(オーボエの前身)やツィンク(コルネット)を使って、フランス(ルイ14世)やイギリス(チャールズ2世)でオーボエ・バンドが編成された。イギリスでは、宮廷のバンドがヘンリー・パーセル(H.Purcell, 1658-1695)などによる作品を演奏した。
バロック 様式	1639-1694	
	1690	ドイツ、ニュルンベルグでデンナー(Denner)がシャリモー(クラリネット)を改良し、以後オーボエに替わって広く普及する。

時代	年	世界での出来事	
クラシック様式 (江戸後期)	1720-	トルコの陸軍、ジャニセール部隊が戦いの士気高揚で効果を上げていた編成(ザルナというオーボエ属の楽器やファイフ、大きさの異なるケトルドラム、テナー・ドラム、バス・ドラム、大きさの異なるシンバル、トライアングル)がポーランドをはじめロシア、プロシア、オーストリアの順に採用された。	
	1749	ヘンデルが「王宮の花火の音楽」を作曲した。	
	1762	イギリスでドイツ軍楽隊の編成(オーボエ2、クラリネット2、バスーン2、ホルン2、時にセルパンやフルートを加える)にトランペットを加えた歩兵連隊軍楽隊が創立される。	
	1762	フランスでルイ15世が、国家の支出で16名編成のバンドを設置した。	
	1763	フリードリヒ大王が、プロシアの軍楽隊の編成を正式に定める。	
	-1764	フランスの大厩舎音楽隊(ティンパニを含む編成の大きなバンド)でリュリ(J.B.Lully, 1632-1687)、クーラン(F.Couperin, 1668-1733)、ラモー(J.P.Rameau, 1632-1687)などの作品が演奏された。	
	1777	イギリスの歩兵連隊がシンバルを採用した。	
	1781	ウィーンで11名編成(オーボエ、バスーン、クラリネット、ホルン各2に加えて、トランペットと太鼓)のバンドが演奏会を行った。	
	1782	イギリスの砲兵連隊の軍楽隊が、大太鼓とタンブリンを採用した。	
	1782	トリアノンでフランスとスイスの近衛軍楽隊が、合同でロシアのポール大帝歓迎演奏を行った。	
	1783	アメリカでマサチューセッツ・バンドが設置される。	
	1783	イギリスのヨーク公が、ドイツの楽器と楽手を加えて近衛歩兵コールドストリーム連隊軍楽隊(12名編成)を設ける。	
	1785	イギリスのコールドストリーム・ガーズが、タンブリンやジングリング・ジョニー(グロッケンの前身、クレセントに装飾を施した楽器)を採用した。	
	1789	フランス革命が起こり、パリで国民軍楽隊(ゴセック楽長、45名編成)ができる。その後パリ市が運営し75名に増員されるも1792年に経済的理由で解散する。	
	1792	ハイドンが「プリンス・オブ・ウェールズのための行進曲」を作曲した。	
	1795	フランス国民軍楽隊をもとにパリ音楽院(Conservatoire de Musique)が創設される。吹奏楽のコンサート用オリジナル曲として古典序曲(ゴセック)と序曲八調(カテル)が作曲された。	
	1798	アメリカで海兵隊バンドが設置される。	
	ロマンティック様式	1810	ベートーベンが「エコセーズ」「ポロネーズ」を作曲した。
		1810	シューベルトが「管楽8重奏曲メヌエットと終曲」を作曲した。
1815		シュポアが「ノクターン八長調」を作曲した。	
1816		ベートーベンが「ミリタリー・マーチ」を作曲した。	
1820ごろ		フンメルが「3つの大行新曲」を作曲した。	
1824		メンデルスゾーンが「吹奏楽のための序曲八長調」を作曲した。	
1828		アメリカのペンシルヴァニア州で、軍楽隊を離れてアレントウン・バンドが創設される。	

時代	年	世界での出来事
明治元年	1836	メンデルスゾーンが「葬送行進曲」を作曲した。
	1844	ワーグナーが「葬送交響曲」を作曲した。
	1840	ベルリオーズが、交響曲「葬送と凱旋」を作曲した。
	1844-1858	マイアベーアが、「炬火の踊り第1番 - 第4番」を作曲した。
	1845	フランスのアドルフ・サククスによって、サクソルン属の楽器（コルネットやチューバ）が考案され、ヴァルヴの完成など多くの改良がなされた。
	1852	フランスでギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団の前身として軍楽隊が発足した。
	1853	イギリスでは、金管楽器だけによるバンドが中心となり、今日のベレ・ビュー・コンテストの第1回が開催され、イギリスの作曲家によって多くのブラス・バンド曲が書かれた。
	1857	イギリス陸軍学校に軍楽科が設置された。
	1860	フランスのアドルフ・サククスによって、サクソフォーンが考案された。
	1863	フランスのサリュースによって、サリュソフォーンが考案された。
	1863	パリ博覧会を記念したバンド・コンテストが行われた。
	1864	ワーグナーが、「誓忠行進曲」を作曲した。
	1865	ブルックナーが、「アポロ行進曲」「行進曲変ホ長調」を作曲した。
	1866	グリーグが「葬送行進曲」を作曲した。
	1866	サン＝サーンスが「東洋と西洋」を作曲した。
	1871	明治4年、日本に陸・海軍軍楽隊が設置される。
	1872	アメリカでギルモアの尽力によって「世界平和祭」が行われた。
	1876-1877	リムスキー・コルサコフが「トロンボーン協奏曲」「オーボエ協奏曲」を作曲した。
	1882	J.P.スーザがアメリカ海兵隊バンド楽長に就任する。
	1887-	イギリス陸軍学校の軍楽科が陸軍軍楽学校に改称され、イギリスの軍楽隊が発展した。
	1888	グノーが「小交響曲変ロ長調」を作曲した。
	1874	ドイツで、ベルリン高等音楽院に軍楽科が設置された。
	1892	J.P.スーザが商業目的で、スーザ吹奏楽団を創設した。
	1892	チャイコフスキーが「軍隊行進曲」を作曲した。
	1894	シベリウスが「交響詩ティエラ」を作曲した。
	1898	ドイツで、ベルリン・フィルハーモニック吹奏楽団が創設された。
	1900	イギリスでアイリッシュ・ガーズが創設された。
	1903	イギリスで王立海兵隊音楽学校が創設された。
	1903-	日本の日比谷公園で、陸・海軍軍楽隊による演奏会が始まる。
	1905	アメリカで、イリノイ大学にバンドが創設された。
	1909	R.シュトラウスが「ヨハネ騎士団の騎士の荘重な入場」を作曲した。
	1909-1911	G.ホルストが「吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調」「吹奏楽のための第2組曲 へ長調」を作曲した。

時代	年	世界での出来事
第二次 世界大戦 終結	1911	アメリカで、ゴールドマンによってニューヨーク・ミリタリー・バンドが創設された。
	1912	日本で、京都府立第2中学校に楽隊部が創設された。
	1912	アメリカで、イリノイ州ジョリエト小学校にバンドが創設された。
	1914	アルフォードが「ボギー大佐」を作曲した。
	1915	イギリスでウェリッシュ・バンドが創設された。
	1920	アメリカで、ゴールドマンによって、パーシー・グレンジャーらを審査員とした吹奏楽オリジナル曲の懸賞募集が始まった。
	1923	チェコで、プラハ音楽学校に軍楽科が設置された。
	1923	V. ウィリアムズが「イギリス民謡組曲」を作曲した。
	1926	P. ヒンデミットが「吹奏楽のための演奏会用音楽」を作曲した。
	1927-	イギリスでロンドン警視庁バンドが創設され、後にバグパイプとトランペット・ファンファーレ隊も設置された。
	1929	アメリカで、ゴールドマンによって米国吹奏楽指導者協会が組織された。
	1933	フランスで、毎年6月に国際軍楽祭が行われるようになった。
	1937	グレンジャーが「リンカンシャーの花束」を作曲した。
	1938	イタリアのローマで、ドイツの4つの軍楽隊とローマの全軍楽隊で合同演奏会が行われた。
	1938- 1941	コーブランドが「戸外の序曲」「市民のためのファンファーレ」を作曲した。
	1942	シヨスタコーヴィチが「凱進行進曲」を作曲した。
	1943	R. シュトラウスが「16の管楽器のためのソナタ第1番」を作曲した。
	1944	D. ミヨーが「フランス組曲」を作曲した。
1952	アメリカのイーストマン音楽学校で、フレデリック・フェネルによってウインド・アンサンブル(最小限の人数、約50名による管打楽合奏団)が組織された。	
1961	フランスのギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団が来日演奏を行った。	